

2024.1.12 13:00-15:00
スマートシティ官民連携プラットフォーム
令和5年度第3回オンラインセミナー
「デジタルリテラシーの向上」

地域の学生/社会人/住民を対象とした スマートシティとアーバンデザインに関する取り組み



松山アーバンデザインセンター/ディレクター
愛媛大学防災情報研究センター/特定講師
三谷卓摩

松山スマートシティプロジェクト

都市空間の充実化と次世代都市サービスの導入により、**笑顔あふれる歩いて暮らせるまち**の実現を目指す。そのため、都市データを活用したアーバンデザインの方法論『**データ駆動型都市プランニング**』を確立し、地方都市で既成市街地を更新する先行モデルとして取組を行う。

※ 2019年度から 国土交通省スマートシティモデルプロジェクトとして事業実施

フィジカル空間

松山市撮影空中写真(2015)を用いて作成



データ活用により最適化された次世代都市サービスを実装・提供する。

都市空間及びその利用状況に関するデータを取得する。

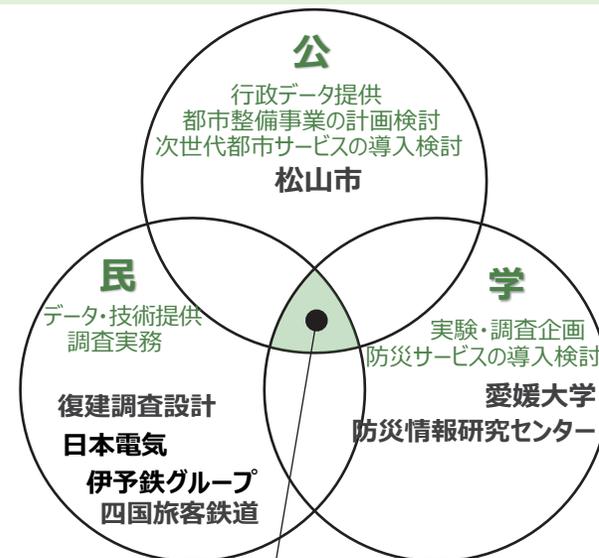
サイバー空間

CityScope * キャプチャ画像を用いて作成



* CityScope : 日立製作所のCyber-PoC for Citiesを活用したデータ可視化ツール

松山スマートシティ推進コンソーシアム



公民学連携組織

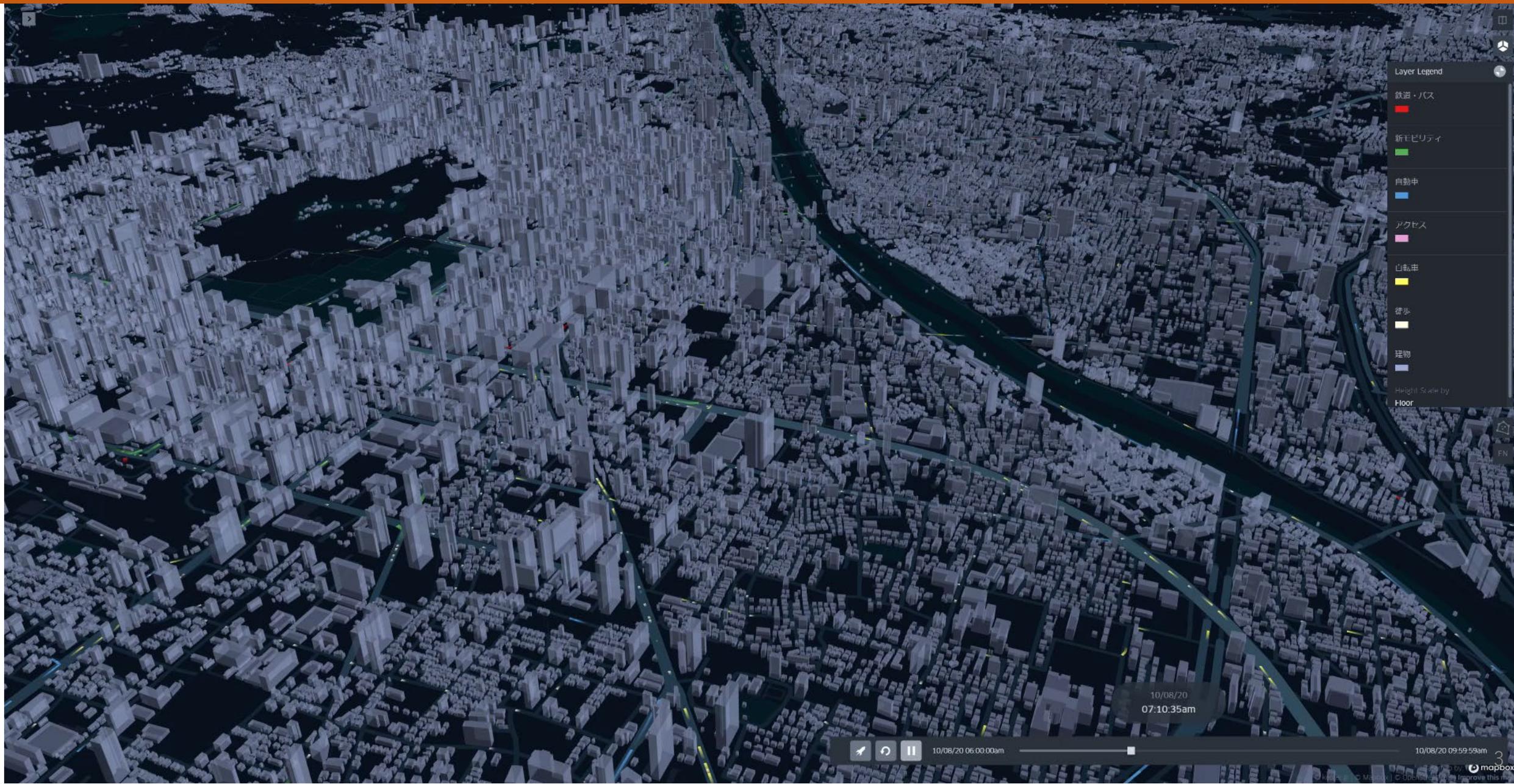
都市整備事業の計画検討
次世代都市サービスの導入検討
データ分析・管理

UDCM
松山アーバンデザインセンター

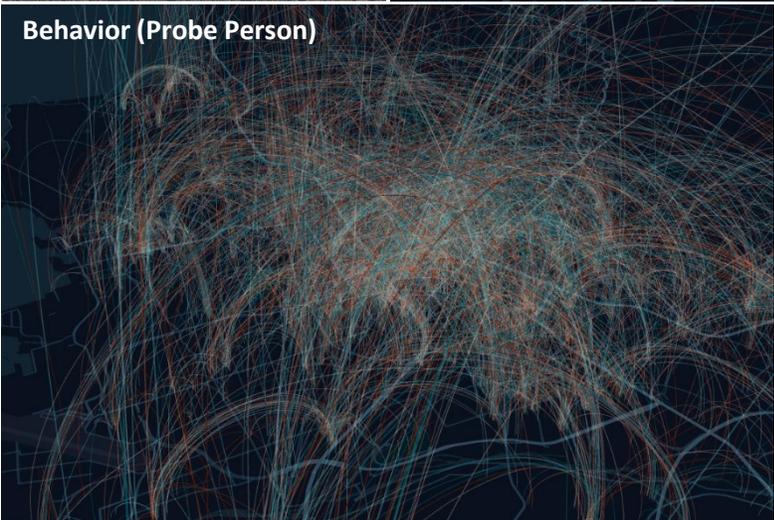


【オブザーバー参加】
▶ 東京大学大学院
工学系研究科
社会基盤学専攻
教授 羽藤英二

サイバー空間上での人や車両の移動活動の再現



松山スマートシティプロジェクト (City Sim)



City Probe

- PP調査
- ETC2.0
- スマホ位置情報
- 車両運行履歴
- LiDAR歩行者流動

City Data-Spa

取込データ(City Probe) 入力

蓄積データ

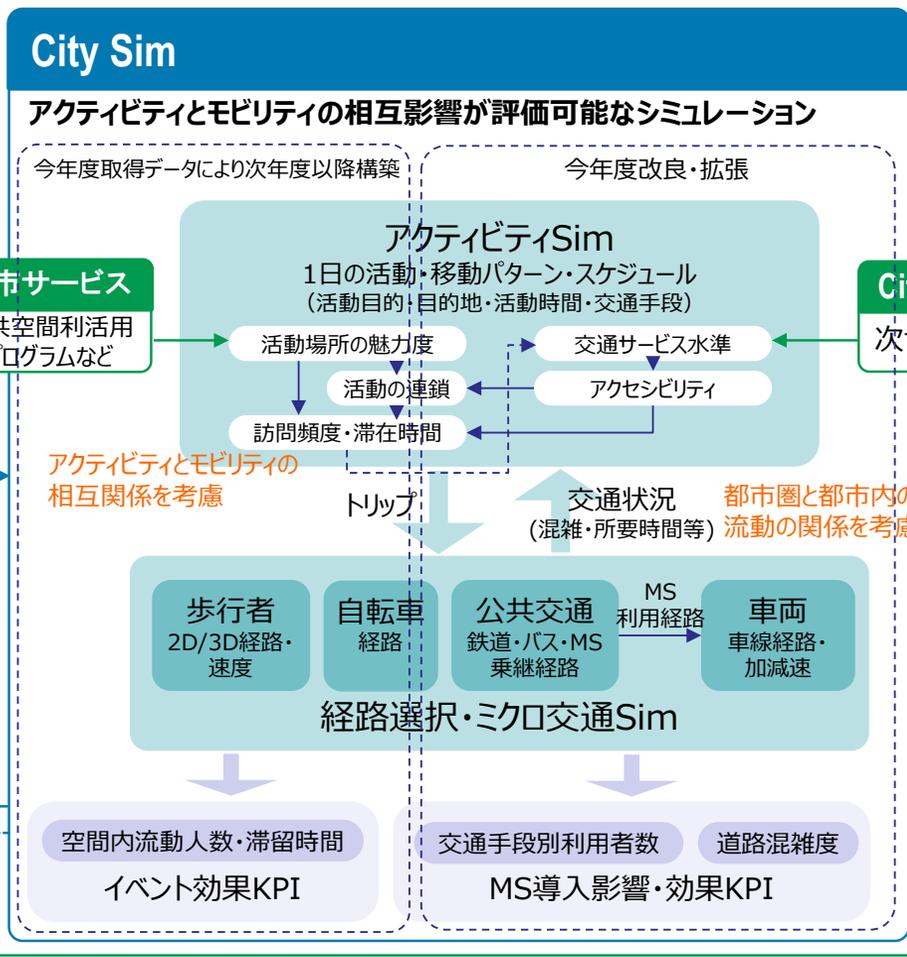
- 交通ネットワーク
- 公共交通情報
- 施設/建物データ...

City Scope

Sim結果の可視化

- MS導入シナリオ比較
- イベントシナリオ比較

計画検討・見直し



都市サービス

公共空間利活用プログラムなど

City Ride

次世代モビリティサービス(MS)

- 将来的な活用イメージ
- 公共交通施策 (鉄道・バス存廃路線等検討、コロナ禍影響等への支援策検討など)
 - 交通基盤の運用 (渋滞対策、中心市街地自動車流入制限、駐車場配置適正化など)
 - 街路計画 (街路空間再配分など)
 - 自転車施策 (自転車ネットワーク計画、シェアサイクル導入など)
 - 防災・避難計画 (避難所計画、防災タイムライン管理など)
 - 歩いて暮らせるまちづくり (環境負荷低減や市民の健康増進に資する施策検討など)
 - 観光施策 (観光型MaaS導入検討など)



実証実験の実施：検討体制

松山スマートシティプロジェクトのフィールド実証とアーバンデザイン・スマートシティスクールが連携した都市回遊型社会実験 (urban design week.)

松山スマートシティ推進コンソーシアム

◎スマートシティ全体会議

(進捗確認・情報共有)

●フィールド実証 WG

- ・車両運行実験
- ・行動実態調査
- ・フィールド実証の評価

(実証結果の活用)

●City Ride WG

- ・入力データ整備
- ・次世代モビリティサービス案検討
- ・課題抽出

urban design week.
(連携)



urban design week.

アーバンデザイン・ スマートシティスクール松山

2021

2022

道後

松山駅

花園町

まちなか

モビリティ

行動分析

歴史

地域
デザイン

モビリティ

アーバンデザイン・スマートシテイスクール松山2022：参加者



アーバンデザイン・スマートシテイスクールとは？
 地域資源を生かし、新たな公共空間の構想と計画を実践する参加型学習プログラムです。受講生はグループに分かれ、対象とする地域の歴史的成り立ちなどを踏まえた実践的なまちづくり活動を学びます。今年度は、地域形成史や地域デザインを踏まえたツアー開発と、スマートシティに関わるモビリティ実験や行動分析に取り組みます。

本プログラムは、令和4年度都市景観大賞「優秀賞」を受賞しました。これまでの活動については、UDCM ホームページで公開しています。

参加無料

UDCMがこれまで行ってきた「公共空間利活用」と「スマートシティ」に関する取り組みを掛け合わせ、スクール形式の市民参加型事業を実施。

【受講生】 計18名

学生（10）：愛媛大,松山大,東京大

県庁・市役所（5）：広島県,愛媛県,松山市

一般社会人（3）

▶3グループ（歴史班、地域デザイン班、モビリティ班）でプログラム検討を実施

スケジュール

開講日時：平日18-20時または休日（各回2時間程度）
 開講頻度：週1-2回程度
 ※詳細な日程は、決まり次第お知らせします。なお開講後、COVID-19の感染状況等により、スケジュールや内容が変更になる場合があります。

8月下旬
 ↓
 9月上旬
オンライン / 対面
準備会 / ガイダンス (8/23 (火) 18-20時)
 開講準備会として、今年度のテーマや進め方などについてのガイダンスを開きます。また、参加希望者の皆さんの興味・関心なども伺います。

9月上旬
 ↓
 9月下旬
オンライン / 対面
レクチャー 計4回 (8/26 (金) 18-20時 / 9/3 (土) 10-12時)
 ミュージアムやさまざまなデザインに関わる専門家、豊洲などのスマートシティに関わる専門家を交え、レクチャー（勉強会）をおこないます。

9月上旬
 ↓
 9月下旬
オンライン / 対面
エスキース・グループワーク 各4-5回（予定）
 レクチャーを受け、具体的な提案プランをグループワークにてつくりあげていきます。グループワークの会場には、UDCMセンター長等によるエスキース（プラン報告・相談会）を開き、提案プランの充実化・具現化に取り組めます。

10/14 (金)
 ↓
 10/23 (日)
対面
プラン実施 / 社会実験 urban design week
 各グループで提案したプラン（ツアーとそれを踏まえたモビリティ、その計画など）を社会実験として実施します。

※urban design weekは、各グループ活動プラン実施と、松山スマートシティプロジェクトのフィールド実証実験が連動した社会実験です。2021年度スクール受講生のプラン実施も、協同でおこなう予定です。

※スクール活動終了時、受感想や活動レポートを作成・提出いただけます。

対象者

- 興味・関心を持って受講できる方
- 高校生以上の方
- メール & zoom 等でのやり取りが可能な方

定員 20名程度（学生 + 社会人）

※定員を超えるお申し込みがあった際は、志望理由を基に受講生を選定する可能性があります。
 ※定員に達しない場合は、8/23以降も参加を受け付ける可能性があります。8/23以降に受講を希望される方は、まずメールにてお問合せください。

申込方法

受講を希望される方は、申込フォーム(下記のURLまたはQRコード)からお申し込みください。
<https://forms.gle/7nbcTeBFdQbtSiXg8>



申込期限
 2022年8月22日(月)
 ①メールアドレス/お氏名/ご学生 or 社会人/住所/志望理由(400字程度) / 電話番号/住所

※お申し込みの際に頂いた個人情報は本行事のみに使用いたします。

- 【お問合せ】 松山アーバンデザインセンター (UDCM) udcm.matsuyama@gmail.com
- 【主催】 UDCM / 愛媛大学 防災情報研究センター アーバンデザイン研究部門、一般社団法人松山アーバンデザインネットワーク
- 【後援】 松山市、愛媛大学 社会連携推進機構 研究協力会 アーバンデザイン研究部会



YouTubeライブ配信の開催告知



スクールのレクチャーの様子

レクチャートーク 計4回、進捗報告会を3回実施

①『八戸市美術館』

▶開館記念『ギフト、ギフト、（八戸を代表する祭り「八戸三社大祭」を出発点に、アートを通して“ギフト”の精神を見つめる展覧会とプロジェクト）』について

②『地域デザインの実践と理論』

▶優れたデザインを選ぶときの視点や、デザインと人、デザインと社会をつなぐデザインハブ（GOOD DESIGN Marunouchi）の運営などについて

③『松山のミュージアムを識る』

▶デザインという言葉を中心に松山のそれぞれのミュージアムのコンセプトと運営や企画展の作り込み方などについてお話しいただき、その内容を踏まえた、まちづくりとの連携の余地について

④『スマートシティ』

▶事例として、交通や防災に焦点をあてた豊洲での先進的な取り組みや松山をはじめ、現場でのデータ取得・収集の実践について

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山2023：参加者

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山 2023
「地域デザインミュージアムをつくる」



【受講生】 計25名

学生（9）：愛媛大、松山大

民間企業（4）：伊予銀行、愛媛銀行、
復建調査設計、ウエスコ

県庁・市役所（12）：広島県、松山市、
今治市、伊予市

▶3グループ（まちなか班、郊外班、JR松山駅班）
でプログラム検討を実施

レクチャートーク 計3回、プラン発表会を2回実施

① 『アーバンデザイン』

➢ 「美術館デザイン ~八戸美術館~」「地域復興デザイン」「まちを使うデザイン」

② 『ミュージアムデザイン』

➢ 「松山市立子規記念博物館」「坂の上の雲ミュージアム」「セキ美術館」

③ 『スマートシティ』

➢ 「歩行者空間の計画と行動分析」「バスタプロジェクト ~バスタ新宿から新時代のバスタプロジェクトへ~」「NECのスマートシティ ~ウェルビーイングを高める新しいまちづくり~」

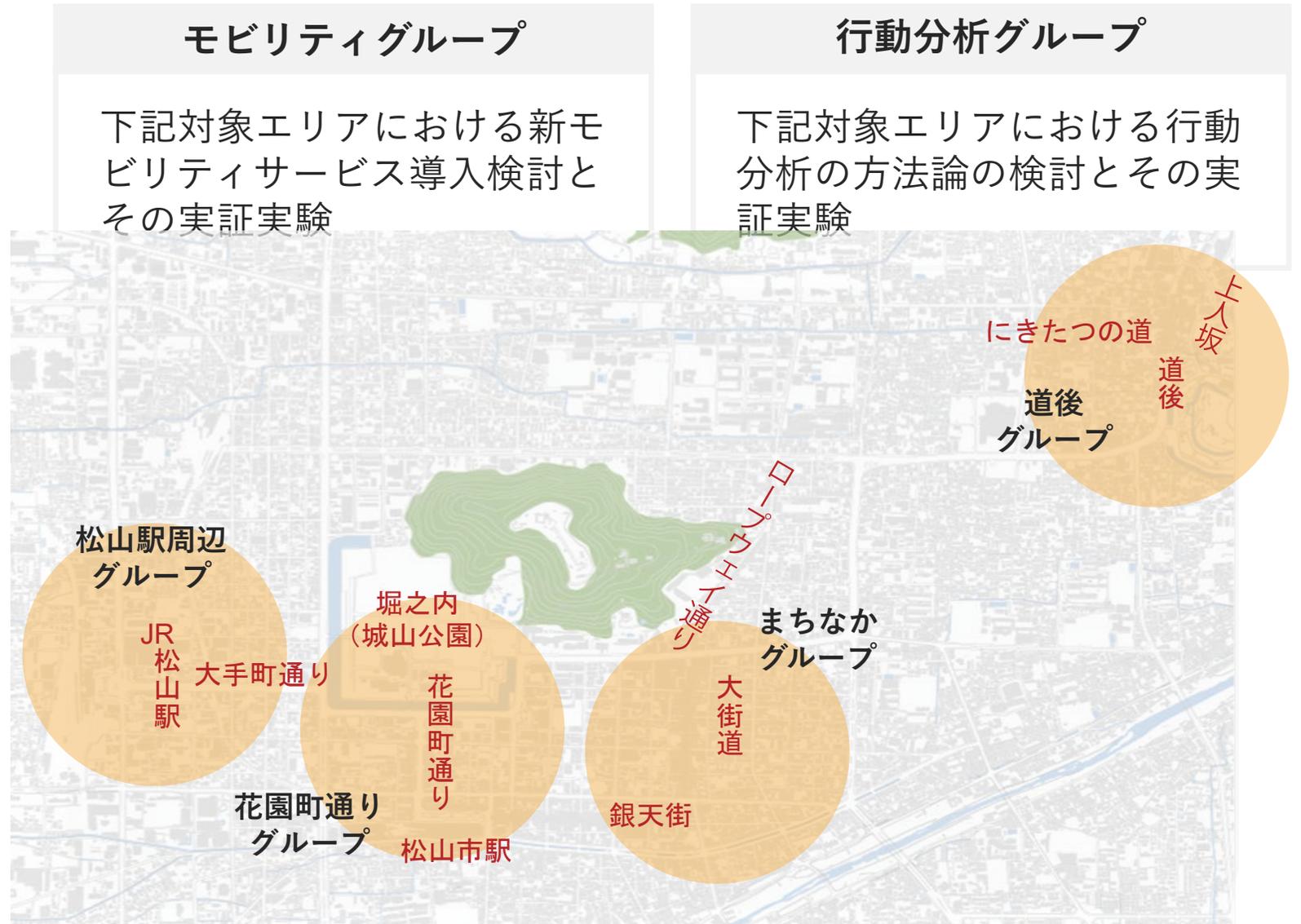
スマートシティスクール：対象地域とグループ分け（例）

【分析チーム】

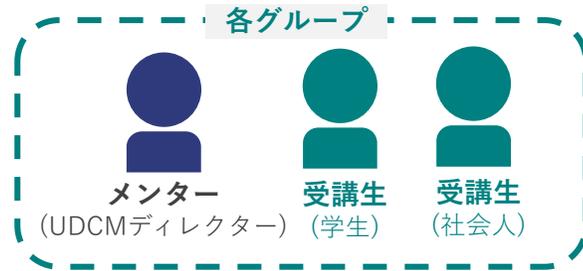
下記プログラムと並行して、新たなモビリティ導入の検討と、企画プログラムの検証を行う。

【活動チームの対象エリア】

「歩いて暮らせるまちづくり」におけるルート上に立地する重要な、右図に示した4つのエリアにおいて、公共空間の利活用プログラムの企画検討及び実施を行う。



スマートシティスクール：活動方法と体制



オンライン・オフラインを
織り交ぜて活動



スマートシティスクール：レクチャーの実施

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山 2022 レクチャー ① × アーバンデザイン研究会 Vol.24

参加無料
申込不要

トークテマ
スマートシティ

2022
9/8 木
18:00~20:00 予定
▶ YouTube ライブ配信

トークゲスト
大村 珠太郎 清水建設
谷口 暢夫 NEC

進行
羽藤 英二 東京大学教授 / UDCM センター長
三谷 卓摩 UDCM ディレクター

※アーカイブ配信はございません。
※開催日時に UDCM チャンネル (下記 URL か QR コード先) にて、ご視聴ください。
<https://www.youtube.com/channel/UCU5K9dv4Dv487VUxKt0Tpw>

UDCM YouTube チャンネル



松山中心市街地での交通シミュレーション
Kepler.gl © Mapbox © OpenStreetMap

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山 2023 レクチャー ③ × アーバンデザイン研究会 Vol.27

参加無料
申込不要

Urban design

『スマートシティ』
2023.7.26 水
18:00~19:00

※アーカイブ配信はございません。
※開催日時に UDCM チャンネル (下記 URL か QR コード先) でご覧ください。
<https://www.youtube.com/@user-mv1po7rq8q>

GUEST
MC

歩行者空間の計画と行動分析
芝浦工業大学准教授 **大山雄己**
NEC のスマートシティ
〜ウェルビーイングを高める新しいまちづくり〜
NEC スマートシティ 事業部門
上席プロフェッショナル **西岡満代**

バスタプロジェクト
〜バスタ新宿から新時代のバスタプロジェクトへ〜
道路新産業開発機構 **鈴木克宗**

東京大学教授 / UDCM センター長 **羽藤英二**

UDCM YouTube チャンネル

YouTube ライブ配信

Lecture 7/26

03 スマートシティ

講師：大山雄己 芝浦工業大学准教授
西岡満代 NEC スマートシティ 事業部門
上席プロフェッショナル
鈴木克宗 道路新産業開発機構

Urban design

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山 2023 第3回レクチャーが zoom にて開催されました。今回はスマートシティをテーマに、講師の方々にゲストトークやクロストークをしていただきました。

はじめに、大山雄己氏による『歩行者空間の計画と行動分析』と題したレクチャーがありました。まず、歩行者空間の事例として、バルセロナのスーパーブロックが挙げられました。グリッドに分けられたゾーン内の場所を歩行者空間に利用するとの説明があり、アンビシャスなプロジェクトとして注目を集めています。歩行者空間の実現は難しいように感じますが、些細なことから始めながら使い方を考えることが重要になります。

一方、歩行者空間化の課題として、モニタリングして分析を重ねることが重要だとありました。プロジェクトが導入されることによって、自動車交通の変化や周辺交通への影響について交通量のデータで統計的に分析し、事例を集めることで歩行者空間化がしやすくなります。しかし、歩行者空間化すると交通渋滞等を引き起こすこともあります。大山氏は、悪いことが起こりうる影響とそれによって生まれる価値をトレードオフとして議論し、評価することが重要であると述べ、公共空間の価値が合わせて議論されるようになるとの見解をいただきました。

続いて、西岡満代氏による『NEC のスマートシティ〜ウェルビーイングを高める新しいまちづくり〜』と題したレクチャーがありました。世界に誇れる「地域らしい」まちの進化として、NEC が取り組んでいるスマートシティを着想とした「パーバス都市経営」についての説明がありました。企業において利益を生むこと自体を目的とするのではなく、社会での存在意義を持つことができる企業活動として、「ウェルビーイング」を高めるために共有することを目標としています。事例として、公共施設を用いてウェルビーイングの向上のためにできることを住民・自治体・民間企業などのステークホルダーが富山市に集まり議論しました。子どもの食育や高齢者のフレイル予防など、身近な目標から少し未来についてロジックを積み上げながら現時点と目標の把握を行いました。また、その他の事例も踏まえ、ウェルビーイングの安心やワクワクがどのようなことに貢献するのかを想像し、新たなステージのまちづくりについてご講義いただきました。

最後に、鈴木克宗氏による『バスタプロジェクト』と題したレクチャーがありました。「バスタ新宿」の取り組みに関して、新宿跨線橋の架け替えにより大きい広場を作るに至った経緯と人口が密集するエリアでの整備の検討について説明がありました。モビリティ全体の枠組みとして、バスタによる高速バスへの乗り換えの選択肢が広がり、価値ある取り組みとなっているとのことでした。

さらに、地方の路線バスと地域鉄道の利用者が右肩下がりであるという状態から、ネットワークを統合することによって機能的、そして多面的に集約することに限らず、多様なモビリティとの連携が不可欠なお話がありました。

続いて、羽藤英二氏 (UDCM センター長) とゲスト講師、受講生の間でクロストークが行われました。まず、松山にバスタができることを聞き、スクール受講生が取り組む地域デザインミュージアムを松山のさまざまなミュージアムと連携することで回遊のツーリズムを生み出すために、留意すべき点について議論がされました。大山氏からは、デザインの工夫に関して、足を運んでもらい、認知してもらうために情報提供や最初の取り組みを大事にして欲しいとの意見がありました。西岡氏からは、新しい取り組みを行うにあたって、失敗を受容する社会に向かって一歩踏み出してほしいとの意見がありました。羽藤氏からは、回遊のツーリズムに関して、その時間をどう過ごすかワクワクをつけて変化を生み出し、印象を変えることで満足度を高めることが重要であるとの意見をいただきました。

また、鈴木氏から松山の公共交通の不便さや疑問点について話がありました。それに対し、大山氏から広場や歩行者空間のような利用価値のある場所をすることや、逆転の発想をしてキーとなりうる場所を探ることが重要になるとの話がありました。

前回の講義に引き続き、非常に興味深い話を聞くことができました。いよいよ、スクール受講生が本腰を入れて活動に取り組む番です。暑い中での活動となりますが、各班の活動がアーバンデザインウィークで見られることを楽しみにしています！
(TA 松尾悠馬)



【レクチャーの集合写真】

15 Lecture 03

Lecture 03 16

スマートシテイスクール：コミュニケーションツールの活用

The screenshot displays a Slack interface. On the left is a dark sidebar with the workspace name 'Urban Design Sc...' and a list of channels including '# 00_全体連絡', '# 01_ta相談確認', '# 02_ラウンジ専用申請', '# 03_備品の問合せ', '# 04_松山都市データ', '# 10_予算計画の提出', '# 20_全体プラン', '# 30_パンフレット', '# g_まちなか', '# g_モビリティ', and '# g_モビリティ-行動分析'. The main area shows a channel '# g_花園' with a message from a user at 19:43. The message text is: '【バナー案について】 シンプルすぎますが、内容をしぼってみました。容量大きくてすみません。御意見及び修整あればお願いいたします。チームロゴは作ったのでしたっけ？見落としていたらすみませんが、あれば共有お願いします。' Below the text is a PowerPoint presentation titled 'バナー案.pptx' which shows a design process for banners, including a diagram with a blue arrow and a photo of a street lamp with a banner attached. The message has 2 reactions and 14 replies.

グループ内外のコミュニケーションにSlackを活用。日常的な交流や資料の共有。運営スタッフも各グループのやりとりを確認することで進捗状況を容易に把握可能。

スマートシティスクール：発表会の開催

【活動コンセプト発表】

03.活動コンセプト

【人々の通りの活動】
課題→コロナ禍により通行人数減少が懸念
課題→通行人数減少が懸念
課題→通行人数減少が懸念

【整備での不安】
課題→通行人数減少が懸念
課題→通行人数減少が懸念

市民による市民のための通り

地元の人々が継続している

実際に暮らせる通りを目指す

分かりやすい

JR松山駅の現状

課題2：ゆっくり過ごせる場所の質と量
課題3：駅周辺の地下道や自転車などの施設の老朽化

駅前空間と施設

快適な空間形成

3. グループの活動コンセプト

「新たな上人坂で賑わいをもいっぺん」

活動方針

- 上人坂の活性化
- 通行人の回遊性の向上
- 通行人の歴史の継承

プロジェクト背景

【まちなかの課題】

- コロナ禍でまちなかを歩く人が少ない
- 花街が行きかたくなるような店舗が少ない
- 滞在時間が短い
- まちなかの情報が少ない
- 一松山に引っ越して来たばかりの人などは、まちなかの情報が得られない。
- 一口目まで人の交流が制限されているため、情報を得にくい。

まちなかを多く歩くことが必要 →回遊性の向上に繋げる。
滞在時間を延ばす取り組みが必要

行動分析とは (※#1 日語編入山先生の発表より)

4

実証的記録

全体の通行人数、滞在時間などを定量的に把握

課題、特徴、パターンの発見

新たな課題を抽出し行動パターンを見つける

従来のメカニズムの解析

人の行動に作用する説明変数を解析する

計画のための議論・示唆

新たな提案のための定量的で信頼のある情報を提供する

2/ 実証実験の計画_1

目的

- 既存の公共交通網で構うことができない場所への移動を可能に。
- マイカー保有者における移動手段の意識に変化を起こす。
- 「まちなか」の回遊性向上につなげる。

使用する交通手段

- シェア型の自動走行車両
- ただし、本実験ではタクシーで代替予定

自動運転車両の長所

- 自分で運転せずに安全に目的地まで行ける

【活動プラン発表】

活動プラン (3企画)

- ストリート展示 (街角パブ 興)
- はなぞのくじ (あみくじ)
- こたつお昼らん (ネットドリンク)

使い方のイメージ

ハンモック
タープ(店舗)
人工芝マット
テント

社会実験車両

焼き火
ランタン

ハン墨さんの出店

2. イベント概要

「いっぺん袋でぶらり坂さんぽ」

多くなる仕掛けが入ったいっぺん袋を配布し、上人坂周辺を散歩してもらう
また、袋の中に光源を入れ夜の賑わいを創出する

0 いっぺん袋の準備
マップ、光源、ナイフ、参加説明帳など
→ 中身の配布準備を事前に済ませておく必要がある

「スタンプラリー×謎解き×タイムスリップ」

・活動用のチーム名 まちなかおさんぽ(MOCモック)

TwitterやInstagramなどのSNSでも活用中！

データ

目的

- 既存の公共交通網で構うことができない場所への移動を可能に。
- マイカー保有者における移動手段の意識に変化を起こす。
- 「まちなか」の回遊性向上につなげる。

使用する交通手段

- シェア型の自動走行車両
- ただし、本実験ではタクシーで代替予定

自動運転車両の長所

- 自分で運転せずに安全に目的地まで行ける

2/ 実証実験_4

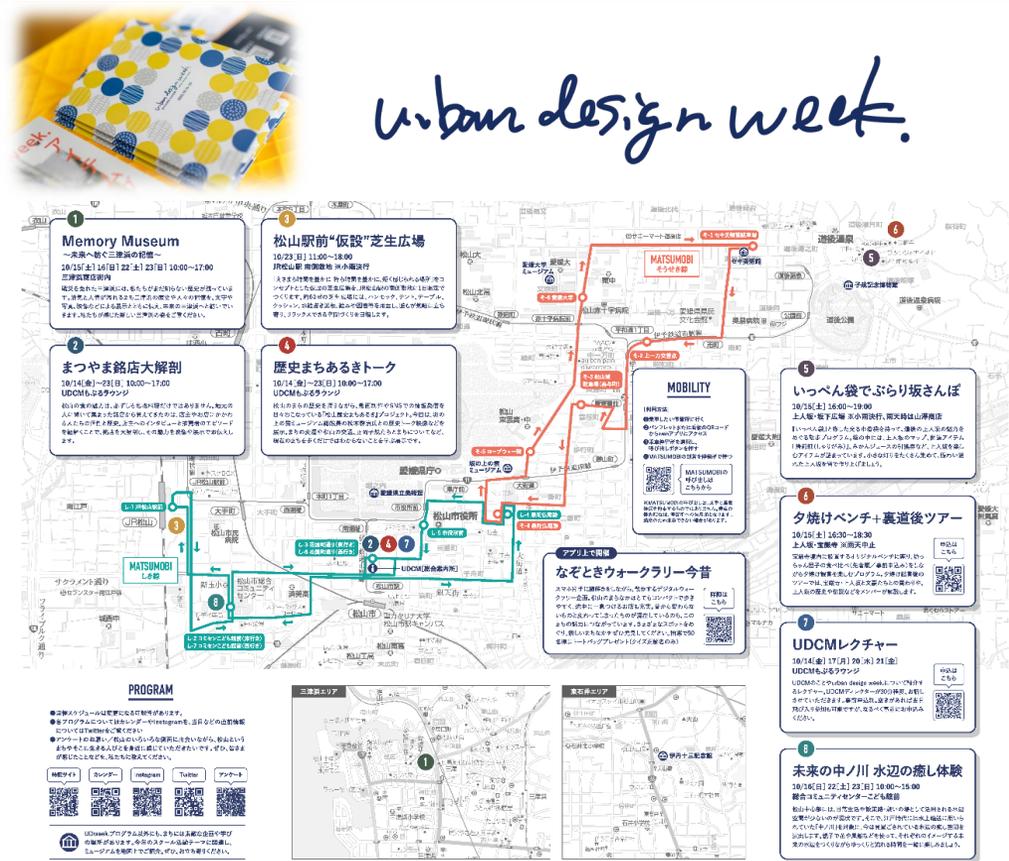
Urban Design Week 2021 10/16-17/18 Matsuyama IC&ES

グリーンズローモビリティの運行

- イベントを通じて
- 自動車の運転と異なる
- コモンズ、駐車場の活用

コメンテーターの講評に基づき、最終的な活動プランの実施に向けた準備を実施

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山2022：プラン実施



urban design week.

Memory Museum
 一風へ敷く三津浜の記憶～
 10/21(土)16:00-22:31 23日 10:00-17:00
 三津浜歴史博物館

松山駅前“仮設”芝生広場
 10/23日 11:00-18:00
 三津浜歴史博物館 向小堀通り

まつやま路店大解剖
 10/14(金)～23日 10:00-17:00
 UDCM松山クラシク

歴史まちあるきトーク
 10/14(金)～23日 10:00-17:00
 UDCM松山クラシク

いっぺん後でぶらり坂さんぽ
 10/23(土) 16:00-19:00
 上八坂・坂下町 坂の美術館、天待橋山岸商店

夕焼けベンチ+裏道後ツアー
 10/23(土) 16:30-18:30
 上八坂・塩巻寺 坂の美術館

なぞときウォークラリー今昔
 本町から大町まで、なぞときウォークラリー
 アップ上で開催

UDCMレクチャー
 10/14(金) 17:00 23日 21:00
 UDCM松山クラシク

未来の中ノ川 水辺の癒し体験
 10/23(土) 22:31 23日 18:00-19:00
 総合コミュニケーションセンターこども館

PROGRAM

●本町から大町まで、なぞときウォークラリー
 ●松山駅前“仮設”芝生広場
 ●まつやま路店大解剖
 ●歴史まちあるきトーク
 ●いっぺん後でぶらり坂さんぽ
 ●夕焼けベンチ+裏道後ツアー
 ●なぞときウォークラリー今昔
 ●UDCMレクチャー
 ●未来の中ノ川 水辺の癒し体験



アーバンデザイン・スマートシティスクール松山2023：プラン実施



urban design week.

1
ココきて! らくがき
ココどこ? まち探検
10/22(日)・28(土)・29(日) 10:00-16:00
愛媛CATVオープンスクエア
最近、松山のまちを歩いていますか? JR松山駅から松山市駅の間には、今まで気付かなかった魅力がたくさん隠れているかもしれません。まち探検マップを手に入れて、写真を集めた方に、オリジナルグッズをプレゼント。探検エリアの中間地点には、自由にらくがきできる場所が登場します! 大人も子どもも楽しみながら、カラフルな空間を作り上げましょう。さあ、まちなかへ集合だ!

2
くめはぶ・ええとこじゃろ
ミュージアム
～昭和の東道後温泉郷をめぐる～
10/21(土)～23(月)・27(金)～29(日)
10:00-17:00 熊本米穀店倉庫(南久米町246)
現在の久米地区は、松山のベッドタウンとして発展していますが、かつては多くの店が並び、賑わいを見せた商店街。隣の見える田園風景、源泉から湧き出る温泉水を汲む人々など、久米地区ならではの光景が広がっていました。今の姿からは想像できない昭和の久米地区にタイムスリッパしてみませんか?

3
くめはぶ・ええとこじゃろ
ミュージアム
～いまむかし 今出の餅 垣生めぐり～
10/21(土)～23(月)・27(金)～29(日)
10:00-17:00 松山今出郵便局裏ガレージ
紡がれる糸と糸で多様な文様を織りなす「伊予織」は、180年前、18歳の才女「鍵谷カナ」に始まります。カナが生理を遂げた垣生(今出)の物語にスポットを当て、子ども大人も楽しめる空間の創出やワークショップを開催します。都市回遊のハブ(拠点)となる垣生で、織織りの旋律に包まれた特別な時をご体験ください。

4
跳んで! 歩いて!
大手町通りミュージアム
～「かなしきデブ猫ちゃん」マルと巡る～
10/22(日)・28(土) 10:00-15:00
愛媛新聞社前広場+大手町通り
松山で最初に歩道が整備されたのはなんと大手町通り。JR松山駅前が大きく変わるうとして、今、大手町通りは一種に変わる大チャンスかもしれない。そう考えた私たちは愛媛新聞の広場に集まり、マルとともに心と身体はずむ企画を現場中です。残された足跡、隠された言葉をヒントに、一緒に大手町通りを歩きましょう!

5
UDCM[総合案内所]
坂の上の雲ミュージアム前総経長 松本 啓治氏解説
10/21(土)～29(日) 10:00-21:00
いよてつ高島屋 大観覧車「くるりん」
「くるりん」から広がる松山のパノラマをご覧いただきながら、坂の上の雲ミュージアム前総経長 松本啓治氏が松山の歴史を語ります。(ご自身のスマホにより歴史解説動画を視聴していただきます)。松山城は? 城下町は? 石手川は? 過去と現在が融合した新しい景色を体験してください。

垣生エリア
松山市駅 約30分
帝人寮 長楽寺 三嶋大明神社 三嶋神社前 伊予鉄道郡中線 伊予鉄バス
10/28(土)は愛媛新聞社前(大手町)と垣生の会場を繋ぐタクシーを無料でご利用いただけます。

久米エリア
松山市駅 約10分
長楽寺 北久米小学校 北久米 東道後のそらともし 伊予鉄横河原線 久米 BOOK OFF 松山久米店 南久米公園 鷹ノ子
2

6
まちなか mini HiROBA
10/21(土)～29(日)
伊予鉄道 松山市駅5番・6番乗り場 跡地
もうすぐ、松山市駅前に、誰もがつりりと、くらくとくことができる憩い空間として、大きな「ひろば」が誕生することを、みなさん知っていますか? 今回のプロジェクトでは、そんな未来の様子をイメージして、いろいろな空間の使い方を検討しながら、まちなかで「自然を感じられるような、そんな空間をつくりました。」

7
UDCMものがたり
～花園で育むまちづくりの芽～
10/21(土)～29(日) 10:00-19:00(土日は17:00まで)
UDCMもぶるラウンジ
UDCMもぶるラウンジのこれまでを振り返り、歩んできた道のりを年表として展示します。様々な活動に取り組みの様子を、スライドショーや視聴コーナーなどのサブ展示を交えながら紹介しています。松山のまちづくりの軌跡を一掃にご覧ください。

8
夕焼けベンチ+裏道後ツアー
10/27(金) 16:30-18:30 ※雨天中止
上人坂・宝蔵寺
宝蔵寺境内に設置するオリジナルベンチに座り、坊っちゃん団子の食べ比べ(先着順)をしながら夕焼け観賞を楽しむプログラム。夕焼け鑑賞後のツアーでは、宝蔵寺・上人坂と文楽まちとの関わりや、上人坂の歴史や伝説などをメンバーが解説します。

urban design weekプログラム以外にも、まちには素敵な企画や学びの場所があります。今年のスクール活動テーマに関連し、ミュージアムを地図上でご紹介。ぜひ、お立ち寄りください。

アーバンデザイン・スマートシティスクール松山2023：プラン実施



くめはぶ・ええとこじゃろミュージアム
～いまむかし今出の絣 垣生めぐり～



くめはぶ・ええとこじゃろミュージアム
～昭和の東温泉郷をめぐる～



ココきて！らくがき ココどこ？まち探検



跳んで！歩いて！
大手前通りミュージアム



まつやま歴史まちあるき
(くるりん編)

フィールド実証WG：車両運行実験

MOBILITY

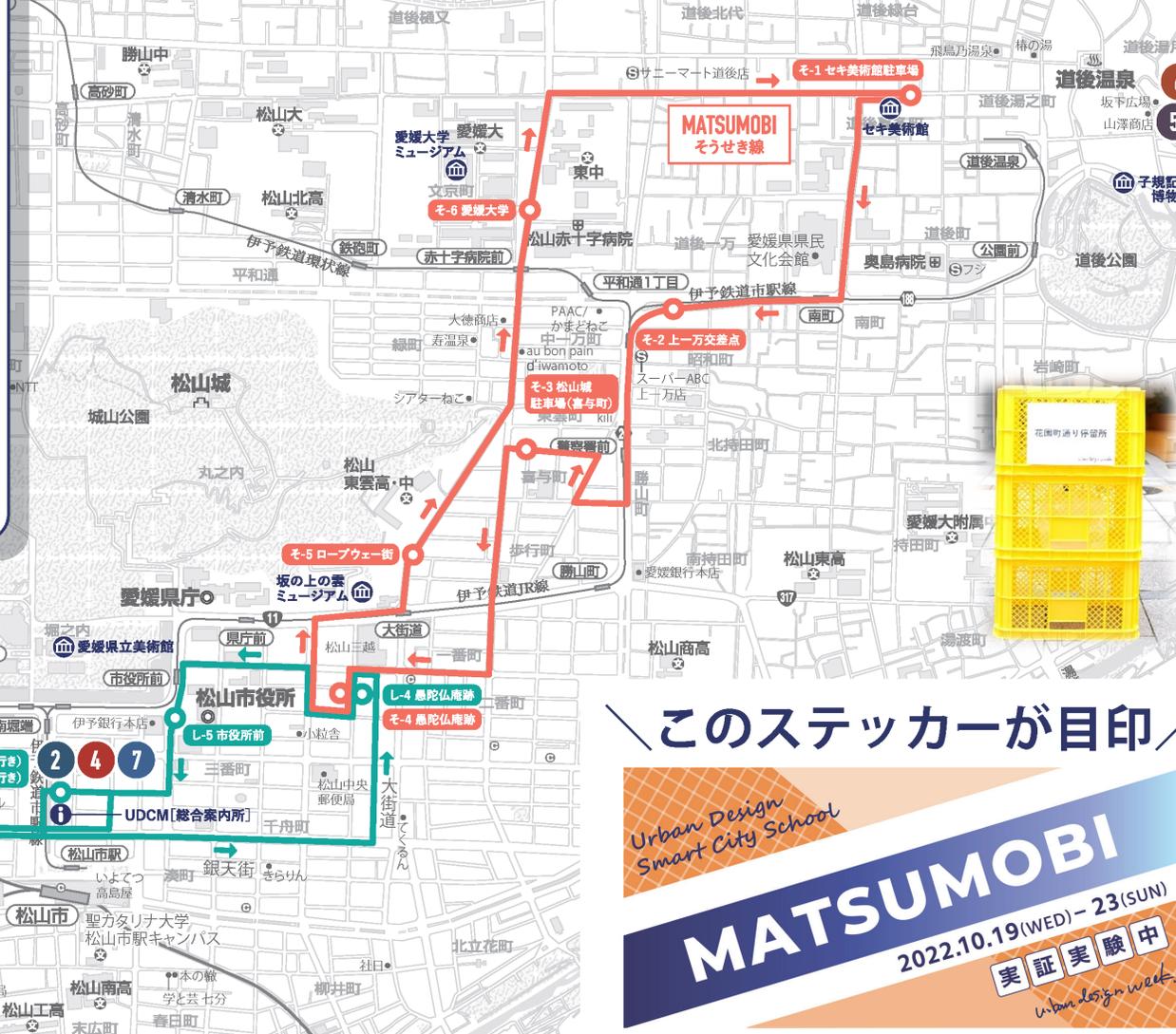
- 乗車したい停留所に行く
- パンフレットまたは看板のQRコードからwebアプリにアクセス
- 乗車停留所を選択し、呼び出しボタンを押す
- MATSUMOBIの到着を停留所で待つ



MATSUMOBIの呼び出しはこちらから

※MATSUMOBIの呼び出しは、乗車と座席確保を約束するものではありません。乗車の優先順位は、停留所への到着順となります。満席のため乗車できない場合があります。

MATSUMOBI 路線図 2022.10.19 ~ 23



このステッカーが目印

Urban Design Smart City School

MATSUMOBI

2022.10.19(WED) - 23(SUN)

実証実験中

Urban Design Week



- 選択してください
- し-1: JR松山駅前
 - し-2: コミセンこども館前(東行き)
 - し-3: 花園町通り(東行き)
 - し-4: 愚陀仏庵跡 (JR松山駅方面)
 - し-5: 市役所前
 - し-6: 花園町通り(西行き)

フィールド実証WG: 行動実態調査(プローブパーソン調査)

【目的】

urban design week.中の人の移動活動実態を把握し、モビリティの評価と交通行動モデルのパラメータ推定などに用いる。

【調査期間】

urban design week.の期間(10/14~10/30の17日間)

【最終モニター数】

108名

【モニター募集の方法】

- 特設サイトやUDCM関連のホームページ、SNSでの募集
- 楽天インサイトでのモニター募集

【謝礼】

QUOカード 4,000円分

【参加条件】

次の1~3をすべて満たすこと

1. 15歳以上
2. GPS機能のあるスマートフォン(iPhone(iOS11.0以降)またはAndroid(6.0以降))をお持ちの方で、調査用アプリ「PP(プローブパーソン)」をダウンロードできる方
3. 期間中に「urban design week.」に参加していただける方

※期間中に松山市中心部で開催される「urban design week.」のプログラムや、その他「道後オンセナート」「堀之内マルシェ」「まつやま花園日曜日」などの各種活動に1回以上参加いただける方。

【GPS取得方法】

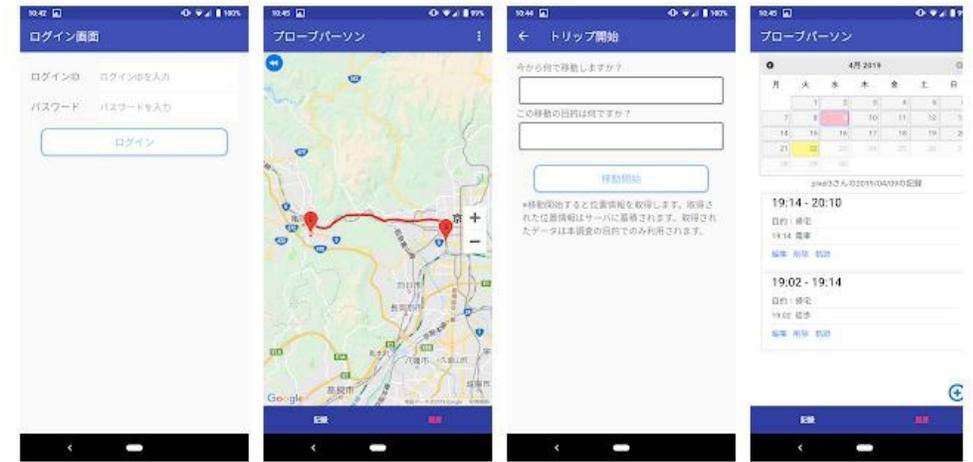
スマートフォンアプリ『PP(プローブパーソン)』

【取得情報】

移動目的、移動手段、位置座標



Probe Person - プローブパーソン

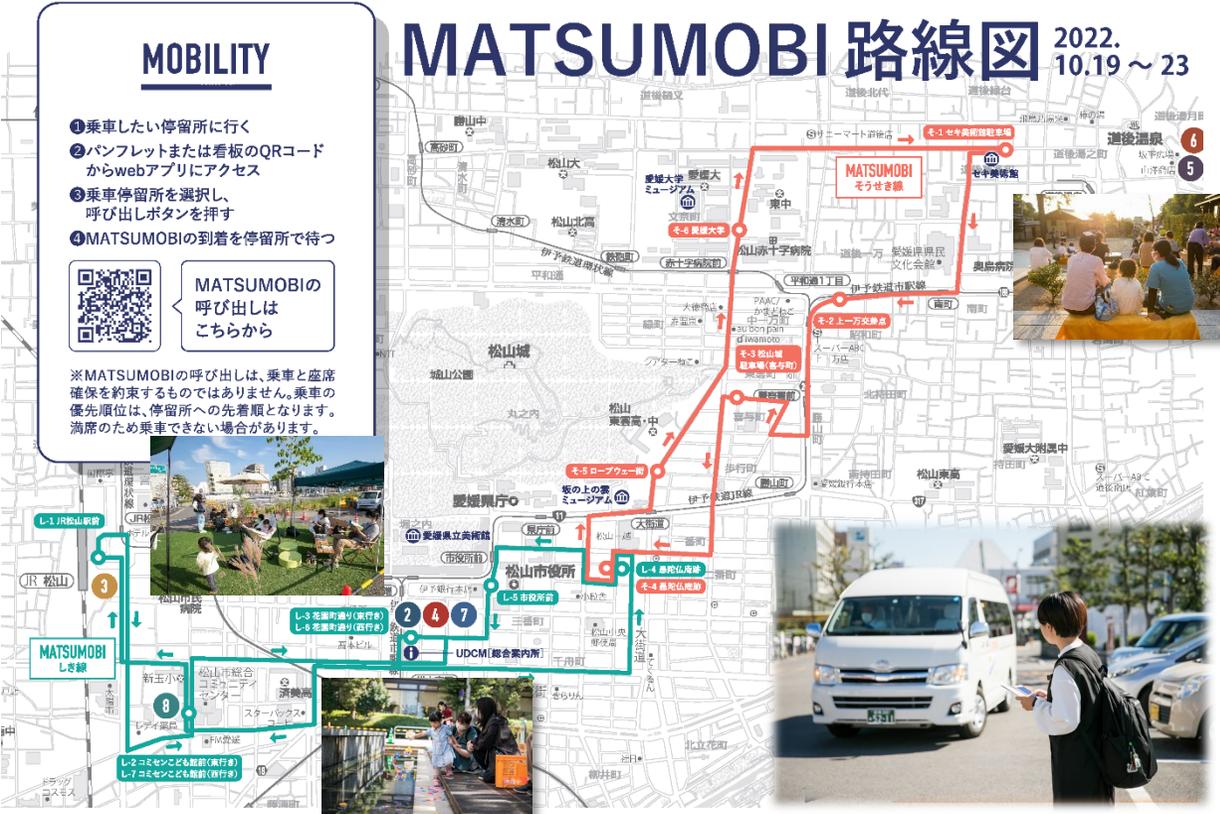


「Probe Person」アプリは、人の交通行動を記録するアプリです。通勤・通学、買い物、食事などの活動に関するアンケート調査の代替になります。本アプリでは、移動手段・移動目的を入力いただき、移動中の位置情報のGPS測位をします。取得されたデータは行動の履歴として閲覧していただけます。(履歴表示は時間がかかる場合があります)取得されたデータはサーバにアップロードされます。厳重に当社で保管し、調査期間終了後破棄します。利用の目的は、防災や交通の分析のために利用します。

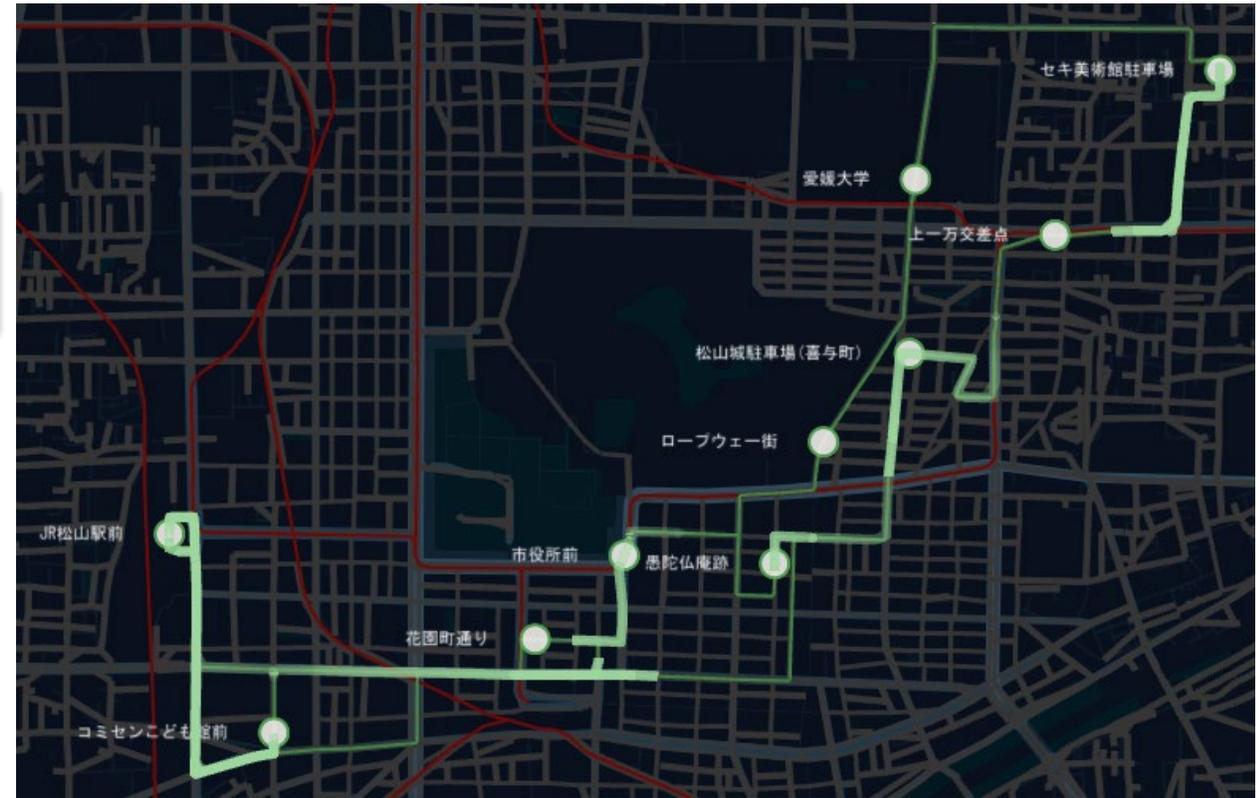
※本アプリはバックグラウンドでGPSを計測するためバッテリーを激しく消費します。ご理解のある方のみご利用ください。

都市回遊型社会実験 (まとめ)

- ①次世代モビリティサービスの導入に向けた車両運行実験
- ②スクール事業のイベントと連携することで市民の**アクティビティの創出**
- ③**プローブパーソン調査**：スマートフォンアプリによる移動/活動データの収集
- ④モビリティサービスの運行形態の検討のための**ミクロなシミュレーション**の実施



都市回遊型社会実験の運行路線と乗降場所、イベントの開催



サービス検討に向けたシミュレーション

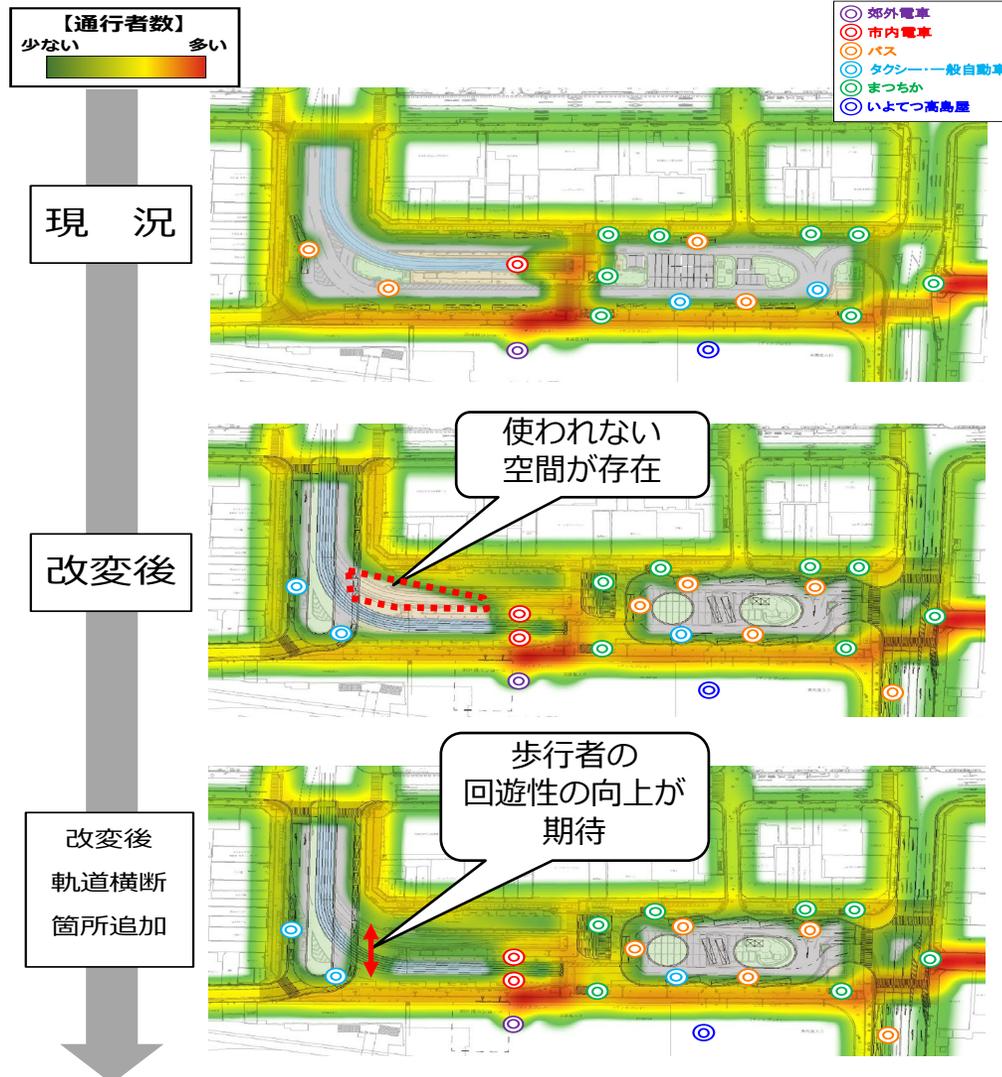
松山市駅前広場の整備



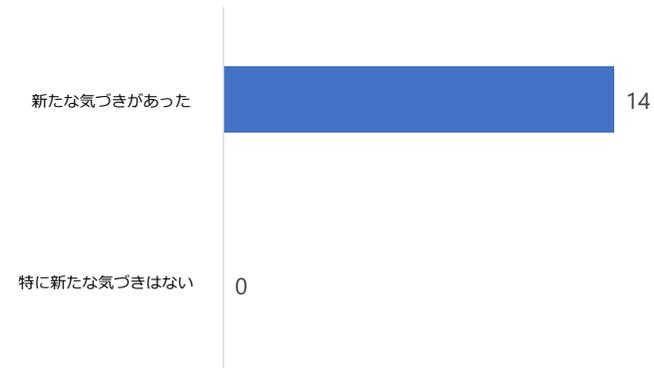
松山市駅前広場空間改変イメージ（松山市より）

松山市駅前広場整備の合意形成への活用

改変を進める松山市駅前広場整備事業をテーマとして、**過年度のデータを活用して整備後の回遊行動シミュレーション**を実施し、**ワークショップ**で関係者に提示。関係者はデータを見ることにより、**新たな「気づき」**があり、データをわかりやすく**可視化することによる有効性を検証**。



ワークショップの実施状況



データを見ることによる参加者からの感想